

○桜島大正噴火から110年－過去から学ぶ災害への備え－

大きな被害をもたらした1914年（大正3年）1月12日の桜島大正噴火から、令和6年1月で110年の節目を迎えます。鹿児島市では、将来の大規模噴火に備え、大正噴火の教訓を継承するため、各種取組みを行っています。

写真提供：鹿児島県立博物館



▲軽石火山灰に埋もれた家屋



▲地震による市街地側の被害



▲噴煙の様子

■ 次世代へ「つなぐ」火山防災教育

11月11日に実施した第54回桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練）において、大規模噴火のおそれにより噴火警戒レベルが4及び5へ引き上げられた想定で、桜島の小・中学生に学校からバスによる避難行動をとっていただいた後、火山防災教育として小学1～3年生、4～6年生、中学生の3グループに分かれて、市職員による大正噴火や火山防災に関する講話を行い、防災関係機関の活動や装備品を見学していただきました。

参加した中学生からは、「いつ大正噴火のような噴火が起こるか分からないので、家族でいろいろなことを確認しておこうと思う」「改めて自分たちは大きな災害が起こりうるものと隣り合わせに生きていることを頭に入れて生活していきたい」などの感想が寄せられました。



▲学校からの避難行動（バス避難）



▲火山防災に関する講話（中学生）



▲陸上自衛隊車両の見学

■ その他の取組み

- ・ 京都大学防災研究所火山活動研究センター 井口 正人 教授による講演会（R5.11.5）
「桜島大規模噴火への備え ～大正噴火から110年～」
- ・ 日本火山学会2023年度秋季大会（R5.10.18～20）
・ 発表「鹿児島市の桜島火山防災対策 火山防災トップシティを目指して」
・ 団体展示出展
- ・ 鹿児島市立美術館 冬の所蔵品展 ミニ特集（R5.12.12～R6.3.3）
「大正噴火110年 桜島のすがた」
- ・ 第54回桜島火山爆発総合防災訓練（避難所体験・展示訓練）（R6.1.13予定）
大正噴火110年パネル展 など



日本火山学会2023年度秋季大会▶
団体展示出展ポスター

◀日本火山学会2023年度秋季大会
鹿児島市発表



【問合せ先】

鹿児島県鹿児島市 危機管理課

TEL：099-216-1513

E-mail：kiki-kazan@city.kagoshima.lg.jp